

教養教育は何の役に立つのか？ ジェンダー視点からの問いかけ



従来の教養教育にはジェンダー視点が決定的に欠けていた。
国際的なジェンダー主流化をふまえ、
教養教育の再定位に向けて
ジェンダー視点から
問いかける。

日本学術会議主催 学術フォーラム

2013. 06. 29(土)

13:00~17:00

於:日本学術会議講堂(入場無料・事前申し込み不要)

◆プログラム(13:00~17:00)◆

◆開会挨拶・趣旨説明 井野瀬久美恵(甲南大学教授・日本学術会議第一部会員)

13:10~14:50 報告

(1) ジェンダー史研究の成果は浸透したのか？

堀岡とし子(東京大学教授・日本学術会議連携会員)

(2) アジア史をジェンダーから見直す

小浜正子(日本大学教授・日本学術会議連携会員)

(3) 市民教養としてのジェンダー法学—共生のための技法を学ぶ

三成美保(奈良女子大学教授・日本学術会議連携会員)

(4) 「教養教育は何の役に立つのか」となぜ問われるのか？

小林傳司(大阪大学教授・日本学術会議連携会員)

15:00~15:45 コメント

◆企業が求める教養 佐藤千佳(日本マイクロソフト(株)執行役・人事本部長)

◆理系と文系の教養教育を架橋する 藤垣裕子(東京大学教授・日本学術会議連携会員)

◆多様化する世界の中での教養 林陽子(弁護士・国連女性差別撤廃委員会委員)

15:45~16:55 討論

◆開会挨拶 浅倉むつ子(早稲田大学教授・日本学術会議第一部会員)

◆司会 大日方純夫(早稲田大学教授・日本学術会議連携会員)

武田万里子(津田塾大学教授・日本学術会議連携会員)

主催:日本学術会議(港区六本木7丁目22-34)

(東京メトロ千代田線乃木坂駅出口5・徒歩1分)

共催:日本学術会議史学委員会「歴史学とジェンダーに関する分科会」日本学術会議法学会「ジェンダー法分科会」日本学術会議社会学委員会「複合領域ジェンダー分科会」科学研究費基盤研究(B)「歴史教育におけるジェンダー視点の導入に関する比較研究と教材の収集及び体系化」(代表:三成美保)

後援:ジェンダー法学会・ジェンダー史学会・日本教育学会・歴史科学協議会

連絡先:甲南大学文学部井野瀬研究室 inose@center.konan-u.ac.jp

